

令和2年1月28日

## 個人情報が含まれた microSD カードの紛失について

神戸大学医学部附属病院長

平 田 健 一

本院の歯科口腔外科において、患者情報（患者の氏名・ID 写真）と口腔内・周辺写真が保存されたデジタルカメラの記録媒体（microSD カード）を紛失したことが判明しました。事実確認に時間を要したためご報告が遅れましたこと、また、患者さんをはじめ関係者の皆さまに多大なるご心配とご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。

### 1. 紛失した個人情報の内容

紛失した microSD カードには、以下のデータが保存されていました。

データ：診察時にデジタルカメラで撮影した①患者カルテの氏名・ID(カルテ番号)部分の写真、②口腔内・周辺写真（氏名・ID の記載無し）。

人数：可能性がある患者さんは46名。

パスワード：設定されておりませんでした。

《人数の推測について》

口腔内・周辺写真の台帳と照合した結果、最大で46名分のデータが保存されていた可能性があることを確認しています。

### 2. 経緯

令和元年12月5日（木）の12時頃、研修医が外来診察室にて、microSD カードに保存されている口腔内・周辺写真データを電子カルテに登録するため、デジタルカメラから SD カード変換アダプターに装着された状態の microSD カードを取り出して医療用端末のパソコンに挿入し、登録作業を行いました。その後、同日の19時頃、医局医員室のパソコンへのバックアップ作業を行うため、外来診察室からアダプターに装着された状態の同カードを医局医員室へ持参し、パソコンに挿入したところ、写真データの読み込みが行えなかったため、同カードの故障と考え、医局員に翌日相談することとしました。翌日の昼頃、医局員に相談したところ、アダプターから同カードが脱落し、紛失していることに気づきました（同研修医はこの時点で初めて、アダプターと同カードは一体のものではなく、取り外し可能であること、また、アダプターが一部変形しており、脱落しやすい状態であったことを認識しました）。

紛失に気づいた後、直ちに外来診察室及び医局医員室の検索を行いました。現在も発見に至っておりません。

なお、現時点においては、当該 microSD カードに保存されていた個人情報が第三者に流出したという情報や不正に使用されたという事実は確認されておりません。

### 3. 該当する患者さんへの対応

個人情報が保存されていた可能性がある患者さんには、12月26日（木）から1月10日（金）

までの間に、電話又は対面にて本件に関する事実関係の説明とお詫びをさせていただいております。

#### 4. 再発防止に向けた今後の取組について

今後は、再発防止に向けて以下のとおり取り組みます。

- ・ 医局医員室へ移動してのバックアップ作業は廃止する。
- ・ 紛失した場合に備え、個人情報を扱う機器やデータにはパスワードを設定する。
- ・ microSD カードをはじめとする個人情報を扱う機器等の定期的な点検を実施する。

今回 microSD カードを紛失したことにより、多くの患者さんにご迷惑とご心配をおかけする事態を招いたことを重く受け止め、今後、個人情報の取扱いに関する院内ルールの周知徹底を図り、個人情報の適切な管理に努めてまいります。